

風水害に備えよう

◆台風

日本列島には毎年多数の台風が接近又は上陸し、強風と大雨によりたびたび大きな被害にあっています。台風情報に注意して被害が出ないように備えましょう。

◆集中豪雨

短時間のうちに狭い地域に集中して降る大雨のことです。狭い地域に突発的に降るため、予測は困難であり、河川の氾濫や土砂崩れ、がけ崩れなど大きな災害が予測されます。がけ付近や造成地などは、気象情報に十分注意し万全の対策をとるようにしましょう。

★どんな時に発生するの？

- ▼日本付近に前線が停滞しているとき。
- (とくに梅雨の終わり頃)
- ▼台風が日本へ近づいているときや上陸したとき。
- ▼大気不安定な状態が続き、次々と雷雲が発生するとき。

【雨の強さと降り方】

1時間雨量(ミ)	予報用語	人の受けるイメージ	人への影響	屋内(木造住宅)	屋外の様子
10~20	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	雨の音で話し声がよく聞き取れない	地面一面に水たまりができる
20~30	強い雨	どしゃ降り	傘をさしてもぬれる	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく	
30~50	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る			水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界がわるくなる
50~80	非常に激しい雨	滝のようにゴーゴーと降る	傘は、全く役にたたなくなる		
80~	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感で恐怖を感じる			

【銚子地方気象台等で発表する注意報・警報の基準(県北東部：横芝町)】

	注意報	警報
強風暴風	強風により、被害が起こるおそれがあると予想される場合。 ▼平均風速が、陸上13m/s以上 海上15m/s以上	暴風により、重大な災害が起こるおそれがあると予想される場合。 ▼平均風速が、陸上20m/s以上 海上25m/s以上
大雨	大雨により、被害が起こるおそれがあると予想される場合。 ▼1時間雨量が、30ミリ以上 3時間雨量が、80ミリ以上 24時間雨量が、130ミリ以上	大雨により、重大な災害が起こるおそれがあると予想される場合。 ▼1時間雨量が、50ミリ以上 3時間雨量が、110ミリ以上 24時間雨量が、200ミリ以上
洪水	洪水により、被害が起こるおそれがあると予想される場合。 ▼1時間雨量が、30ミリ以上 3時間雨量が、80ミリ以上 24時間雨量が、130ミリ以上	洪水により、重大な災害が起こるおそれがあると予想される場合。 ▼1時間雨量が、50ミリ以上 3時間雨量が、110ミリ以上 24時間雨量が、200ミリ以上
がけ崩れ(知事が発令)		次の2要件により「がけ崩れ」の発生が予想される場合。 1.大雨注意報が発表されているとき。 2.1時間雨量が40ミリを超えることが予想される時。又は既に100ミリの雨が降った以降において、1時間雨量が20ミリを超えることが予想される時。